

世界中の課題にチャレンジする「社会起業家精神」にあふれたグローバルリーダーを育てます。

1 キリスト教主義

人間として大切な考え方や精神、習慣を学びます。

- ・隣人愛：自己中心から他者中心へ
- ・礼拝：聖書の言葉を通して人間としての生き方を考える
- ・平和教育：修学旅行で広島・長崎を訪問（中学）

2 中・高・大一貫教育

創立者を共有する関西学院大学と高大連携で教育・授業を展開しています。

- ・土曜講座：関西学院大学の教授が講座を担当
- ・大学図書館：啓明学院の生徒は全員利用できる
- ・第2外国語：専門の講師による6か国語の講座
- ・高大連携科目履習：関西学院大学の授業を受講でき、単位の認定もされる
- ・「ROOT」プログラム：将来国際的に活躍する科学者や技術者を発掘する教育プログラム
- ・SDGs：貧困や飢餓、不平等、気候変動など世界中の課題にチャレンジ

3 チャレンジ精神

「毎日がチャレンジだ」という気持ちを忘れずにあらゆる機会を逃がさずチャレンジしてほしい。

- ・前島キャンプ：前島でのオリエンテーションキャンプでは、チャレンジ精神や自立心を目覚めさせる
- ・青島キャンプ：無人島の青島ではチャレンジ精神とチームワークの大切さを学ぶ
- ・キャンプリーダー：リーダーシップとメンバーシップを体得する
- ・遠泳：中1からの水泳特訓の成果を發揮する
- ・かけ足：毎日のかけ足鍛錬の成果を、冬の10kmマラソン大会で証明
- ・寮生活：集団生活を通して自己管理の大切さを学ぶ

4 英語運用能力

グローバルリーダーには、英語による意思表明とコミュニケーションの能力が必要です。

- ・英語検定：95%の生徒がCEFR B1レベル以上（英検2級程度）に到達
- ・「GTEC」にチャレンジ
- ・スピーチコンテスト：校外コンテストでも好成績
- ・英語キャンプ：前島キャンプで数日間英語漬け

5 スタディ・スキル（学問する技術）

欧米の伝統的な読書技術や論文作成技術を学び、学科の枠を超えたスタディ・スキルを身につけます。

- ・読書教育：中学では「読む力」「考える力」「書く力」「話す力」を鍛える
- ・学術研究：高校では全員が「学術研究レポート」を作成、大学の学びに備える
- ・情報収集能力：図書館の資料検索法をマスターする
- ・課題発見能力：自分で課題を発見し、多角的に分析する力を養う
- ・ソーシャルビジネスプラン：社会の課題を継続的に解決するための戦略を考え抜く
- ・プレゼンテーション：「人を動かす力」「発信する力」を高める
- ・ICT教育：iPadを1人1台全生徒が活用

ソーシャルアントレプレナーシップ



留学生も多く在籍、国際色豊かな校風をはぐんでいます



地球温暖化を解決するためハチドリ電力を起業、CO₂ゼロの自然エネルギーのみを届ける電力小売事業を展開する小野悠希さん（2014年卒業）

5 スタディ・スキル



チャレンジ精神に目覚める青島キャンプ

6 国際交流



イギリス国際交流研修

4 英語運用能力



「人は何故信仰の対象をつくるのか」と題して「学術研究」発表会で発表する西山珠理さん

3 チャレンジ精神



啓明太鼓

7 自己育成能力



「すべての地域の魅力が最大限に発揮される社会を作りたい!」という思いから経済産業省に入省。現在は、地域においてデジタル技術を活用した新事業を創出する政策の立案に取り組む細川茜さん（2011年卒業）

8 日本国文化発信力



啓明太鼓

9 ボランティア精神

6 国際交流

グローバルリーダーへの第一歩。海外に出かけて友達を作り、世界中の多様な人々と絆を深めています。

- ・相互訪問：中学はオーストラリアと韓国、高校はアメリカとインド
- ・海外修学旅行：高校はマレーシア、シンガポールへ
- ・留学プログラム：毎年十数名が留学
- ・帰国生：海外在留経験者が約110名在籍
- ・留学生：毎年10名程度の留学生を受け入れ
- ・イギリス国際交流研修：非英語圏の学生たちと3週間の交流研修
- ・アメリカ南メソジスト大学研修：ランバスファミリー・パールリバー・チャーチ訪問

7 自己育成能力

世界には問題が山積しています。課題を見つけ解決する力のベースになる「自学自習の習慣」を体得します。

- ・土曜講座：建学の精神にそったさまざまな講座
- ・リベラルアーツ：グローバルリーダーとなるための幅広い知識と教養
- ・クラブ活動：チャレンジ精神を体得・発揮する場
- ・トライやるウィーク：中学での社会体験の機会
- ・生活研究：足元を見つめることもグローバルリーダーの資質

8 日本国文化発信力

「日本文化と歴史を語れる人になる」を合言葉に、日本文化の習熟にも力を入れています。

- ・和道教室「一隅庵」：日本文化の神髄に触れる
- ・茶室「三合庵」：本格的なお点前を学ぶ
- ・邦楽：日本の伝統楽器と「雅な心」を学ぶ
- ・書道：人格を磨き情操をはぐくむ
- ・華道：季節感を大事にする日本独特の芸術を学ぶ
- ・和太鼓：「和の心」と「たくましさ」を体得
- ・日本舞踊：形や動き、所作から日本の心を学ぶ
- ・陶芸：前島キャンプの登り窯（備前焼）で陶芸作品作り

9 ボランティア精神

社会の課題に立ち向かうには現場体験は不可欠です。人の痛みをわが事とする、眞のリーダーになってほしい。

- ・ミャンマースタディーツアー：日本人医師のもとでソーシャルビジネスを体験
- ・ボランティア登録：各種団体のプログラムに登録し活動
- ・Sクラブ、インタークラブとして活動
- ・海外ボランティア：マレーシアの植林キャンプなどに積極的に参加
- ・あしなが学生募金：全国募金額の1%に達したこともある

2 中・高・大一貫教育

1 キリスト教主義

エスティージーズ
SDGsも積極的に学んでいます。

啓明学院は、国連が提唱する「持続可能な開発目標」SDGsにも積極的に取り組んでいます。これまでにも、先進的な取り組みをされている方々をお招きし、生徒自身が学校でできる取り組みを始めています。

SDGsは、「次世代にどのような世界を引き継ぐことができるのか」という大きなチャレンジであり、今を生きる私たちに責任を問いかけるものです。SDGsに取り組むことで、生徒たちのチャレンジ精神はさらに磨かれ、よりよい世界を創ろうとする情熱は高められ、実践力は鍛えられることでしょう。

土曜講座

学年や学科の枠を超えた学びが、みなさんの可能性を広げます。

生涯学習の扉を開くために

月曜日～金曜日は必修授業5日制を採用しています。土曜日は、学年や教科の垣根をはずし、「愛と奉仕」という教育の理念に照らした授業を展開するために、「土曜講座」を開いています。

中学2年生からは、興味のある講座を選んで自由に受けることができます。あなたの個性や素質・才能を見いだし伸ばすために、また将来の仕事や趣味として豊かに実らせるために、積極的に取り組んでください。

関西学院大学と連携した講座も

高校になると、関西学院大学の法学部やロースクールの教授による法学特別講座など、大学と連携した講座があります。また、本校卒業の大学生によるリレー講座もあり、18歳の選択に役立つことでしょう。

土曜講座は、啓明スピリットに共感する人々の応援を得て、より骨太に進化を続けています。

中学生と高校生がともに学びます

多くの講座で、中学生と高校生が一緒に学びます。中学生は高校生の学びの深さや意識の高さに影響を受け、高校生は中学生の手本となるべく努力します。お互いが刺激しあいながら伸びていきます。安定した中高一貫の理想的な姿がここにもあります。



中学生の土曜講座

(2022年度実施講座)

中学1年生の講座（必修）

⌘ コミュニケーション・ラボ

いろんな人とコミュニケーションをとる方法を学びます。

⌘ 情報基礎

情報をやりとりするときのルールやマナーを学びます。

⌘ 数学に親しむI

算数から数学へ。論理的な思考力も鍛えます。

中学2年生の講座（必修）

⌘ 数学に親しむII

⌘ 知ろう 考えよう SDGs

中学3年生の講座（必修）

⌘ General Quest

⌘ ひょうごスタートアップアカデミー

中学2年生・3年生・高校生の講座（選択）

(2023年度予定講座)

⌘ 情報の風景を変えよう！

⌘ 法律・政治を学ぶ

⌘ 動画による情報発信技術の習得

⌘ 「伝える文章」を創作する

⌘ PLACE

⌘ 東洋医学の養生法

⌘ 中国語を言ってみよう！

⌘ 中国語にチャレンジしてみよう！

⌘ 韓国語入門

⌘ 韓国語基礎

⌘ 手話講座入門

⌘ 着付けとマナー講座

⌘ 絵本講座

⌘ 話のテクニック～自己表現メソッド～

⌘ 赤ちゃん先生から学ぶライフプラン「親になる準備」

⌘ 遊びから学ぶ！即興コミュニケーション

⌘ NEXUS～社会でほんとうに必要な力～

⌘ 建築を知ろう

⌘ 実用 iPad（初級）

⌘ 実用 iPad（中級）

⌘ アドバンスド・コンピューティング

⌘ Advanced English

⌘ 科学実験（中学）

⌘ 科学実験（高校）

⌘ 「簿記」を学ぼう

⌘ Creative home ec.

⌘ ヨガ教室

⌘ トレーニング実践

⌘ 中国武術 太極拳

⌘ 動けるカラダづくり

⌘ Basic English

⌘ Basic Study

⌘ 日本文化の伝統芸術より日本音楽を学ぶ

⌘ 啓明太鼓

⌘ ハンドベル・クワイア講座

⌘ たのしい音楽

⌘ アクセサリーを作ろう

⌘ 礼拝奏楽

⌘ 書道に親しむ

⌘ フラワーアレンジメント

⌘ 華道に親しむ

⌘ 初めての筆と絵手紙

⌘ セーリング

⌘ はじめてのゴルフ



大自然の中で、新たな友情をはぐくみ、 建学の精神を学びます。

牛窓沖に浮かぶ啓明学院前島キャンプ

岡山県瀬戸内市牛窓町の沖に浮かぶ前島には、啓明学院前島キャンプがあります。入学するとすぐに、2泊3日のオリエンテーションキャンプを体験します。中学生にはメチャバーが待っています。泥だらけになりながら、友と支えあう啓明精神を学びます。高校からの入学生は、中学からの進学生と一緒に生活して、新たな友情をはぐくみます。

大自然の中で共同生活を体験します

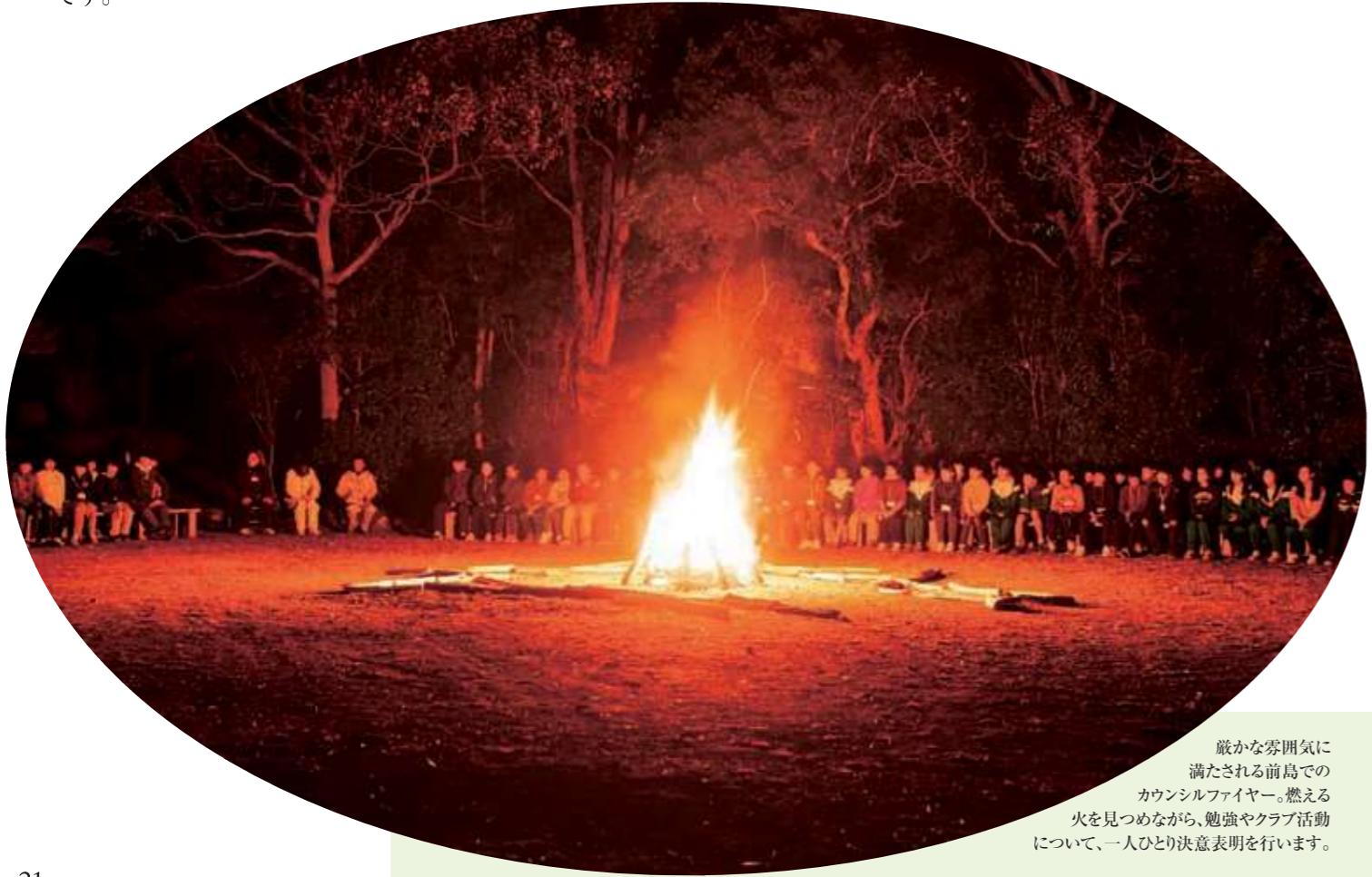
イギリスのパブリックスchoolは全寮制です。両親のもとを離れ、厳しい規律のもとで共同生活を経験します。キャンプはこうした寮生活に変わるもので、大自然の中で野外学習と合宿生活を体験し、教職員と生徒が協働で学びます。チャレンジ精神をはじめとする啓明プログラムはキャンプ教育から始まります。

前島のとなりには、関西学院の無人島・青島があります。青島では、中学2年生の夏休みに5泊6日のサバイバルキャンプを行います。草を刈ったり道をつけたりするワークが行われ、「自分のことは自分でする」という自立の基本と、「どんなときにも人間らしく生きる」というサバイバル精神を学びます。

キャンプの醍醐味に目覚め、リーダーにチャレンジ

中学のオリエンテーションキャンプには、中学3年生が班つきリーダーとして、高校3年生はクラスつきリーダーとして参加します。高校のオリエンテーションキャンプと青島キャンプには、高校3年生が班つきリーダーとして参加します。

班つきリーダーの役割は重要です。下級生の安全と健康に眼を配り、取り組む姿勢の模範を示します。リーダーは自己中心では務まりません。班員一人ひとりの個性の把握から始まります。自己中心から他者中心へ、心の中で質的転換が起こり「リーダーシップとは何か」に目覚めるのです。班員も、共同体の一員として自分の役割を果たすことの大切さに気づき、よきメンバーシップをはぐくんでいくのです。



前島キャンプ（中学1年生・高校1年生 オリエンテーションキャンプ）



青島キャンプ（中学2年生の夏休み）



クラブ活動

心のふれあい、感動のシーン。 生涯の友との出会いがあります。

加入率が高いクラブ活動

中学・高校時代を思い切り楽しめる啓明学院では、文化部・運動部を問わず、ほとんどの生徒がクラブ活動に打ち込んでいます。そして、友情、心の絆、チームワーク、協調性、チャレンジ精神、自立心、やり遂げる強い心、自分への厳しさ、鍛錬する意志——クラブ活動のなかで人生に欠かせない、大切なものを学びます。

人工芝グラウンドで快適なクラブ活動

全天候型のグラウンドにはロングパイル人工芝を使用。試合観戦用にスタンドも設けられ、サッカー、アメリカンフットボールの公式戦にも使われています。テニスコートが6面あり、ソフトテニス、テニスの公式戦にも使われています。陸上競技のターフ100m走路も3レーン整備されています。ナイター設備もあり、日没後も練習や試合ができるようになっています。

2022年度 活動中のクラブ

◆ 文芸部	◆ 伝統文化部 (茶道・華道・書道・邦楽)	◆ 写真研究部
◆ 美術部	◆ ESS 部	◆ 放送部
◆ 演劇部	◆ ドラマ部	◆ コーラス部
◆ 家庭部	◆ 軽音楽部	◆ 社会部同好会
◆ 吹奏楽部	◆ 数理科学研究会	

* バレーボール部	* 陸上競技部	* アメリカン(タッチ)フットボール部
* バスケットボール部	* バドミントン部	* チアリーディング部
* ソフトテニス部	* サッカー部	* 水泳部
* 剣道部	* テニス部	
* ダンス部	* 体操競技部	

※中高男女によっては、入部のできないクラブもあります。



放送部 2020兵庫大会記念高校放送コンテストのラジオドキュメント部門で準優勝し、NHK公式HPにも作品が掲載された。ほぼ毎日お昼の放送を続ける他、区民ランニング大会の司会を務めるなど、学内外での貢献をめざす。



演劇部 キャストだけではなく脚本・大道具など、みんなで協力して舞台を作っている。



数理科学研究会 世界最先端のゲーム理論に挑戦。世界各国の学者らが集う国際学会の審査を通過し、オンラインで研究成果を発表した。ハイレベルな学会での、中高生の発表は専門家も驚く快挙。



伝統文化部・邦楽 編曲や作曲にもチャレンジし、神戸地区大会や県コンクールでもすばらしい演奏をしている。



アメリカンフットボール部 関西大会 出場8回(優勝1回)
全国大会 出場11回(ベスト4:1回)に輝く。



サッカー部 高円宮杯U-18神戸リーグ1部で活躍。昨年度は県リーグ昇格戦に進出。



ソフトテニス部 2022年度兵庫県高等学校総合体育大会個人・団体準優勝。2022年度インターハイ個人出場(2年連続)。1998年度から近畿大会25年連続出場。



チアリーディング部 中学・高校あわせて100名を超える部員が活躍。



ダンス部 高校から入部可能。3年生を中心に生徒が自主的に活動している。



テニス部 夏は4年連続、冬は3年連続で近畿中学校テニス大会団体に出場。



軽音楽部 高校だけの部活動で、現在50名を超える部員がバンドを組み、ライブコンサートに向けて取り組んでいる。



吹奏楽部 毎年、神戸文化ホールで定期演奏会を開催。

学院内外でさまざまにチャレンジする生徒を応援しています。

1年間の活動を生徒自身の手でまとめて発行

啓明学院には「文華編集委員会」があります。『文華』は、中学2年生から高校3年生までの生徒が中心になって、啓明生の1年間の活動をまとめて発刊している「生徒会誌」です。「みんなの文華」「記録性のある文華」「読みやすい文華」の3つを制作理念として、1年間かけてプロの編集者の指導のもと編集力・取材力を磨いています。「読書教育」の学びがすみずみまで生かされ、「生きた学校案内」となっています。

「ROOT」プログラムに挑戦

三井愛理さんは、国際的に活躍する若手研究者を発掘する「ROOT」プログラムにチャレンジし、全国から受講生が集う「科学技術振興機構」の研究発表会で最優秀の文部科学大臣賞に輝きました。

テーマは「プラナリアの体長の測定方法の確立」。「2年間、神戸大学でのプログラムに参加しプラナリアの研究を続けるうち、その現象の原因や真実を突き止めるのが好きなことに気付きました。進路も生命医学科から生命科学科に変え、生物を研究するにも総合的な知識が必要なことに気付きました」と語る三井さん。これも学術研究の成果です。

日本文化の神髄に触れる

日本文化の高い精神性は、世界で高く評価されています。世界でリーダーとして活躍するためにも、日本文化の神髄に触れておくことが大切です。啓明には、日本庭園や茶室まで備えた本格的な和道教室があります。国際交流が盛んで世界にはばたく生徒が多い、本校ならではの学びの場となっています。

「ベストリーダー」を表彰しています

啓明学院の学びの核となる読書教育と学術研究。それを支える読書は、本校のスクールライフの基本であり、学びの土台です。「パルモアライブラー」と名付けられた図書館は、本校の学びの中心といえます。

パルモアライブラーをすべての生徒により多く活用してもらおうと、図書貸出冊数の多い生徒を「ベストリーダー」として表彰しています。さらに幅広い知識を自分のものにもらいたいと願っています。



『文華』57号の表紙。



文部科学大臣賞に輝いた三井愛理さん(2020年卒業)。



日本舞踊の発表会。お師匠さんに卒業生もいます。



表彰されたベストリーダーたち、貸出冊数が300冊を超える生徒もいます。

中学生のインターンシップ「トライやるウイーク」

中学3年生は、私学では兵庫県で唯一、「トライやるウイーク」にも取り組みます。生徒一人ひとりの気持ちを大切に、何をしたいのか、何を学びたいのか、時間をかけて真剣に考え、保護者と相談しながら行き先を決めています。

ボランティア活動のリーダーに

本校生徒会は、国際ソロプチミスト六甲からSクラブの認証を受け、神戸西ロータリークラブからインター・アクトクラブとして認められています。西アフリカ・ブルキナファソで活動しているシスター黒田を招いてお話を聞きました。マレーシアの植林キャンプなど海外ボランティアに、夏休みを利用して参加する生徒もいます。世界のどこにいても活躍できる知識と知恵と志を持ったリーダーが育つことを願っています。

学院外の活動も応援

学院外のクラブチームや団体に所属して活躍する生徒も多くいます。ピアノやバレエなどの音楽・芸術系、英会話や書道などの教養・文科系、テニスや水泳、空手などのスポーツ・武道系と、多様性にあふれています。4年に1回しか開催されない夏期デフリンピック競技大会に、ろう者サッカーの女子日本代表として派遣され、高校1年で世界のピッチに立った生徒もいます。

兵庫県統計グラフコンクールに毎年参加

兵庫県では自分の身の周りやニュースなどから関心を持ったことを、自分で観察したり調べたりして、グラフを使って表現した作品を募集しています。啓明学院は生徒たちの作品を毎年出品しています。文系と理系の垣根を越える文理横断の学びの延長上にあるコンクール。入賞作品に選ばれることも多く、学校奨励賞を毎年受賞しています。



兵庫県統計グラフコンクールで入選した「世界まる見え 18歳選挙権」を持つ女子生徒。



スペイン・バルセロナのヨット世界選手権に日本代表メンバーとして出場した木内恵美子さん。2022年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会に出場。



第52回兵庫県高等学校新人大会スキー競技会のスラロームで優勝し、第71回全国高校学校スキー大会のジャイアントスラロームに出場した高見優志さん。スキーや始めたのは3歳、菅平(長野県)やハチ高原で腕を磨いています。



「聴覚障害者のデフサッカー・デフフットサルを通して、聴者との懸け橋になる」ことをめざし、デフリンピックやワールドカップなど世界を舞台に活躍する宮田夏美さん(2016年卒業)。



国連少年少女大使に選ばれ、国連本部で世界中から招かれた中学生の総会に出席した箸本紗菜さん。高校生になってこの夏再びチャレンジ。

